

南部里山エリアの地域資源を活用 地域おこし協力隊員

市では、地域の課題解決や活性化を図るため、国の「地域おこし協力隊」制度を活用し、隊員2人を受け入れました。南部里山エリアを拠点に、インバウンド誘客や広域連携プロデュースのための活動、情報発信などを行います。

問い合わせ

まちデザイン第1課 ☎24・8100

地域おこし協力隊とは…

地方自治体が地域外の人材を積極的に受け入れ、定住・定着を図ることで、地域の活性化に貢献してもらうことを目的とした取り組み。

大好きな滝ヶ原で里山の魅力を発信



ない き よう いち
内木 洋一さん

鎌倉を拠点にイベントの企画や写真の仕事に携わっていました。小松市には、市民の皆さんが気付いていない魅力が数多くあると感じます。無限の可能性を秘めた小松市の魅力を様々な切り口で掘り起こし、国内外に情報発信していきます。地元の皆さんとのネットワークもどんどん広げていけたらと思います。

伝統の中に新しさをプラス



は た の まさ ひろ
羽田野 真寛さん

東京で地方特産品の卸売り会社を運営していました。このまちの豊かな自然と伝統文化の奥深さに魅せられました。その資源を次の世代に残すため、伝統を守りながら、新しいものを加えることで、より磨きをかけていけたらと思います。これから市内各所を訪れますので、色々な話を聞かせてください。

国際交流コーナー International City KOMATSU

～国際交流員マルチノのこまつ新発見～

国際交流の機会を生かそう！



ブラジル人の私は、英語が母国語ではありませんが、10年前から英語が欠かせない仕事をたくさんしてきました。そして、小松市に来てからも私は英語を使って異文化理解講座や通訳スキルアップ講座を行っています。「英語圏の国に何年間滞在していたのですか」とよく尋ねられます。答えは、ゼロです。実は、英語圏の国には観光にさえ行ったことはありません。そんな私がなぜ通訳講座を開講できるほど英語になじみがあるか、不思議に思われるでしょう。

私の出身地・ブラジルでは、日本のように海外から英語の先生(いわゆるALT)を誘致し、学校に配置する制度がありません。両親が頑張って私を英語教室に通わせてくれました。また、英語による映画・音楽・雑誌など、あらゆる材料を手に入れて英語を学ぼうともしていました。そして、大学で国際関係学部に入ってから初めてネイティブの先生に教わることができました。



▲イギリス・ゲイツヘッド市との青少年交流(平成29年7月)

小松市ではALT配置のほか、イギリスのゲイツヘッド市、ロシアのアンガルス市、台湾の彰化市などの海外都市との青少年交流を実施し、異文化体験や英語学習の機会を多数提供しています。異文化に触れ共通語の英語でコミュニケーションをとることは大変ですが、だからこそ貴重な経験になります。更に、異なった文化や外国語に挑戦するきっかけになるに違いありません。

振り返ると、もし私が子供の頃にこのような機会があったならどれほど楽しく、そして早いうちから英語を学べただろうとうらやましく思います。国際都市こまつならではの数多くの国際交流の機会をぜひ生かしてください！

問い合わせ 国際都市推進課 ☎24・8039



仕事と生活のバランスで 豊かな人生を

問い合わせ

市民協働課 ☎24・8217

仕事・家庭・地域活動・余暇など、どれも人生の中の大切な時間です。多様化する社会環境の中、企業と個人の双方にメリットのあるワーク・ライフ・バランスについて、考えてみましょう。



社会福祉法人松寿園
庄田 浩俊さん

昨年度から公休数を増やすなど、現場の声を聞きながら労働環境の改善に努めています。出産・育児休業制度の充実はもちろん、働き方に選択の幅を持たせることで、一人ひとりのニーズに応えるようにしています。

「仕事」と「生活(育児、介護、地域活動など)」との調和を取り、その両方を充実させる働き方や生き方のことをワーク・ライフ・バランスと言います。時間外労働の削減や効率的な働き方の見直しは、企業の生産性向上や多様な人材の確保、従業員の健康増進などに繋がります。

働きやすい環境づくりで
生産性をアップ

「生活」の充実が
「仕事」の質・効率をアップ

生活

好循環

仕事

メリハリのある「仕事」が
「生活」に余裕を生む

仕事以外の時間をどう過ごすのが豊かな人生を送る上で重要になっていきます。自分の働き方・生き方を見直し、働いているうちから地域活動や趣味の活動の輪を広げることで、自分の身の生きがいを見つけてみませんか。

仕事以外の時間を
有効に活用しよう

仕事をしながら、小松市校下女性協議会副会長として地域活動に参加しています。こうした活動は、様々な人との出会いやつながりの場にもなっており、忙しい中でもやりがいを感じながら取り組んでいます。



小松市校下女性協議会
副会長 大木 淑子さん

育児休暇の取得を推進しても、仕事が回るようにしたい

長時間労働をなくしたい



☎24・8217

問い合わせ 市民協働課

対象 市内に本社または主たる事務所を持つ事業所

申込方法 申込書に必要事項を記入の上、2月28日(水)までに市民協働課へ提出。申込書は市ホームページからダウンロード可。

職場の現状に応じたアドバイザーを行う社会保険労務士を派遣します。

無料

ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザーを派遣します

企業向け支援制度

実現に向け、社会全体で取り組みましょう

ワーク・ライフ・バランスは、企業だけでなく、一人ひとりが共通の課題として取り組むことが大切です。皆さんも、できることから始めてみませんか。